

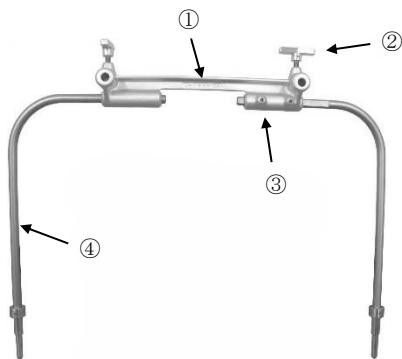
機械器具 01 手術台及び治療台  
一般医療機器 手術台アクセサリー JMDNコード: 70469000  
**マイフィールド・座位用クロスバー**

\*【形状・構造及び原理等】

1. 形状、構造

<セット>

マイフィールド・座位用クロスバー



<セット構成品>

①クロスバー [1個]



②トルクスクリュー [2個]



③セットスクリュー [4個]



④ポスト [2本]



2. 原理

本品は、マイフィールド・ベースユニット（ミズホタイプ、別売品、使用方法欄を参照のこと）を手術台（別売品）に固定するために、手術台両端のサイドレールにユニバーサルサイドレールクランプ（別売品、使用方法欄を参照のこと）を介して取り付ける。

本品のセットスクリューをマイフィールド・ベースユニットに附属されているアジャストメントレンチを用いて締め込み、ポストの位置固定を行なう。またトルクスクリューの操作により、ベースユニット取付口に挿入したベースロッドを締め込み、マイフィールド・ベースユニットを確実に固定することを可能にする。

3. 原材料

アルミニウム合金  
ステンレス

4. 尺寸等

外装に記載

\*【使用目的又は効果】

本品は、脳神経外科手術において、頭部の保持及び固定に使用されるアクセサリーである。弊社指定の頭部手術用クランプ（別売品、使用方法欄を参照のこと）と市販の手術台の間に取り付け、座位での頭部固定の際に用いる。

\*【使用方法等】

使用方法の詳細については、取扱説明書を参照すること。

1. 使用方法

1-1. 組立て

①クロスバーにポスト（2本）を外側より挿入する。

②マイフィールド・ベースユニット（ミズホタイプ）（別売品）附属のアジャストメントレンチでポストが抜け落ちない程度にセットスクリューを締める（仮締め状態）。

1-2. 手術台への取り付け

①手術台（別売品）両端のサイドレールに、ユニバーサルサイドレールクランプ（別売品）を取り付ける。

②ユニバーサルサイドレールクランプに、手順1-1で組み立てた本品ポストの幅を調整して取付ける。

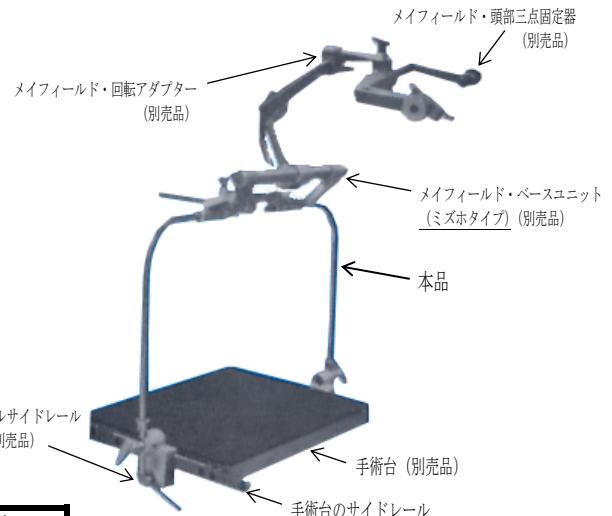
③マイフィールド・ベースユニット（ミズホタイプ）の付属品であるアジャストメントレンチによりセットスクリューを締め込む（本締め状態）。

④位置や角度を調節し、ユニバーサルサイドレールクランプのロッド・菊座固定用ハンドルを締めて固定する。

1-3. マイフィールド・ベースユニット（ミズホタイプ）の取り付け  
①マイフィールド・ベースユニット（ミズホタイプ）のベースロッドを本品（クロスバー）のベースユニット取付口に挿入する。

②トルクスクリューを締めてマイフィールド・ベースユニット（ミズホタイプ）を固定する。

使用例



取扱説明書を必ずご参照下さい

## 2. 組み合わせて使用する医療機器

本品は、弊社取扱品の以下の頭部手術台クランプ及び開創器と併用して使用できる。

届出番号	13B1X00167000039
販売名	メイフィールド・ベースユニット
製品名	ウルトラベースユニット (ミズホタイプ)
届出番号	13B1X00167000048
販売名	バデーハロー・リトラクター・システム
製品名	(オプション品) ユニバーサルサイドレールクランプ

## \* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

欧和通商株式会社 : TEL 03 (5803) 7172

<製造業者>

日本語名: インテグラ・ライフサイエンス社 (アメリカ合衆国)  
英 名: Integra LifeScience Corporation (U.S.A)

<問い合わせ先>

欧和通商株式会社 札幌営業所 : TEL 011 (708) 7725

東京営業所 : TEL 03 (3813) 8201

大阪営業所 : TEL 06 (6304) 9305

福岡営業所 : TEL 092 (526) 3618

## \* 【使用上の注意】

重要な基本的注意

本品と手術台、本品の各構成品が確実に接続・固定されていることを確認すること。[落下事故防止のため]

## \* 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管方法

構成品を紛失しないように注意し、ケース等を用いて保管すること。

### 2. 耐用期間

弊社が定める保守・点検を行った場合 (本文書、取扱説明書を参照)、7年 [自己認証 (製造元データ) による]。

## \* 【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守・点検>

### 1. 使用前・使用後の点検

外観、機構等、異常がないことを確認すること。

### 2. 故障時のお願い

異常のあるもの及びその疑いのあるものは使用を中止し、本文書に記載の<問い合わせ先>に連絡するか、新しい物と取り替えること。各接続部の劣化並びに摩耗が明らかな場合は、必ず新しい物と交換すること。

### 3. 洗浄方法

①使用後は速やかに中性洗剤で洗浄(手洗い) 又は消毒用エタノール等で清拭し、付着物を取除くこと。

②機械による洗浄 (ウォッシャーディスインフェクターの類) 及び水中に浸け置きはしないこと。

③苛性ソーダ、ホルマリン、グルタルアルデヒド及びブリーチを含む洗浄剤や、その他のアルカリ性、酸性の洗浄剤は腐食の原因となるため使用しないこと。

④中性洗剤であってもアルミニウムには使用できないタイプがあるため、事前に洗浄剤の説明書にて使用の可否を必ず確認すること。

⑤金属たわし、磨き粉 (クレンザー等) の類は使用しないこと。

⑥脱イオン水又は脱塩素水で十分すぎ、乾燥させること。

⑦乾燥器の類は使用しないこと。

⑧本品は滅菌の必要はない。

<業者による保守・点検>

年2回を目安として、定期点検を本文書に記載の<問い合わせ先>にご依頼ください。